

2026年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年1月13日

上場会社名 株式会社きょくとう 上場取引所 東
 コード番号 2300 URL <http://www.cl-kyokuto.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役会長兼社長(氏名) 牧平 年廣
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長(氏名) 丸林 凡和 (TEL) 092-503-0050
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第3四半期の業績 (2025年3月1日～2025年11月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益		
2026年2月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
2026年2月期第3四半期	4,262	△1.6	196	△33.0	266	△25.7	183	△24.5	
2025年2月期第3四半期	4,332	10.0	292	13.2	358	12.8	242	29.0	
1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益							
円 銭		円 銭							
2026年2月期第3四半期	34.86		—						
2025年2月期第3四半期	46.15		—						

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
2026年2月期第3四半期	百万円		百万円		%	
2026年2月期第3四半期	4,536		2,341		51.6	
2025年2月期	4,396		2,141		48.7	

(参考) 自己資本 2026年2月期第3四半期 2,341百万円 2025年2月期 2,141百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年2月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	5.50	—	5.50	11.00
2026年2月期(予想)	—	5.50	—	5.50	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の業績予想 (2025年3月1日～2026年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

	2026年2月期3Q	5,551,230株	2025年2月期	5,551,230株
② 期末自己株式数	2026年2月期3Q	290,204株	2025年2月期	290,114株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年2月期3Q	5,261,105株	2025年2月期3Q	5,261,128株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査 法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第3四半期累計期間におけるわが国経済は、各国の通商政策等の影響を受けて海外経済は減速が予想され、ウクライナや中東等を巡る地政学的な要因により資源・穀物価格が上昇するリスクがあり、国内経済は先行き不透明な状況にあります。また、個人消費は、物価上昇による先行きへの不安から家計の生活防衛意識が強まり、節約を意識した消費行動が増えております。

当社におきましては、春の衣替えの時期に気温の上昇が遅く肌寒い日が多かったことから冬物衣料のお預かり点数が減少し、夏季は猛暑の影響で来店客数が伸び悩み、秋の衣替えの時期は記録的な残暑の影響で秋物や冬物衣料のクリーニングの持ち込みが例年より遅れるなど厳しい経営環境で推移しました。

このような経営環境の中、当社は、新しい商品の取り扱い開始や新規出店と店舗リニューアルを含めた設備投資、シーズンに合わせた販促活動など積極的に実施しました。

新しい商品として「羽毛布団リフォーム」の取り扱いを2025年5月1日から開始しました。これは、羽毛布団の中の羽毛を直接洗浄で綺麗にし、羽毛の追加でボリュームアップとともに、生地を取り替えて新品のような状態になり、見た目の清潔さはもちろん、中もふんわりふわふわに仕上ります。お客様の大切な羽毛布団を低コストでリフォームでき、資源のリサイクル、環境保全に繋がる新しいサービスです。今後、販売強化に努めてまいります。

設備投資は、営業基盤の強化を目的に2025年5月1日付で事業の一部譲受けを行い、福岡県久留米市に4店舗を新たに取得しました。加えて、既存店舗のリニューアルを12店舗実施しました。当第3四半期会計期間末の店舗数は482店舗となりました。

販促活動は、春の衣更えシーズンに合わせた生活応援セール「クリーニング福袋詰め放題」サービスや地域毎にイベントを企画し実施するなど販売強化に努めました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高は4,262,126千円と前年同四半期と比べ70,602千円(1.6%)の減収となりました。

利益につきましては、販売費及び一般管理費において人件費やPOSレジ費用等が増加したことから、営業利益は196,070千円と前年同四半期と比べ96,420千円(33.0%)の減益、経常利益は266,491千円と前年同四半期と比べ92,173千円(25.7%)の減益、四半期純利益は183,453千円と前年同四半期と比べ59,386千円(24.5%)の減益となりました。

なお、当社の属するホームクリーニング業界は、通常の場合、春の衣更えの時期に重衣料が洗濯物として出されるため春場に最需要期を迎えます。したがって、当社の売上高は3月から5月に偏る傾向があり、業績に季節的変動があります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて119,636千円増加し、827,979千円となりました。これは、売掛金が71,723千円、前払費用が12,371千円増加したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて20,171千円増加し、3,708,741千円となりました。これは、有形固定資産が13,182千円、無形固定資産が24,430千円減少したものの、投資その他の資産が57,784千円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて139,808千円増加し、4,536,720千円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて108,588千円増加し、1,151,348千円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が29,995千円減少したものの、未払金が70,579千円、賞与引当金が19,081千円増加したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて168,796千円減少し、1,044,312千円となりました。これは、長期借入金が153,678千円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて60,208千円減少し、2,195,660千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて200,016千円増加し、2,341,059千円となりました。これは、利益剰余金が125,580千円、その他有価証券評価差額金が74,479千円増加したことによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月期通期の業績予想につきましては、現時点において、2025年4月15日に発表した業績予想と同じであり、変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2025年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	469,534	455,059
売掛金	93,030	164,753
商品	18,231	22,190
原材料及び貯蔵品	27,033	27,408
前払費用	65,538	77,910
その他	38,699	82,471
貸倒引当金	△3,725	△1,814
流動資産合計	708,342	827,979
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	232,621	219,795
土地	1,645,856	1,645,856
その他（純額）	59,769	59,413
有形固定資産合計	1,938,248	1,925,065
無形固定資産		
のれん	44,473	41,932
その他	146,890	125,001
無形固定資産合計	191,364	166,934
投資その他の資産		
投資有価証券	624,703	707,074
差入保証金	440,367	434,825
その他	503,715	483,498
貸倒引当金	△9,829	△8,657
投資その他の資産合計	1,558,957	1,616,741
固定資産合計	3,688,569	3,708,741
資産合計	4,396,912	4,536,720
負債の部		
流動負債		
買掛金	27,114	33,427
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	262,737	232,742
未払金	282,585	353,165
未払法人税等	60,611	68,318
賞与引当金	23,113	42,194
資産除去債務	286	406
その他	186,311	221,094
流動負債合計	1,042,760	1,151,348
固定負債		
長期借入金	648,597	494,918
退職給付引当金	179,471	182,336
役員退職慰労引当金	123,878	128,041
資産除去債務	109,025	107,149
その他	152,135	131,865
固定負債合計	1,213,108	1,044,312
負債合計	2,255,869	2,195,660

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2025年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	555,092	555,092
資本剰余金	395,973	395,973
利益剰余金	1,014,924	1,140,505
自己株式	△166,971	△167,015
株主資本合計	1,799,018	1,924,556
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	342,024	416,503
評価・換算差額等合計	342,024	416,503
純資産合計	2,141,043	2,341,059
負債純資産合計	4,396,912	4,536,720

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
売上高	4,332,729	4,262,126
売上原価	1,161,932	1,159,640
売上総利益	3,170,796	3,102,485
販売費及び一般管理費	2,878,305	2,906,415
営業利益	292,490	196,070
営業外収益		
受取利息	39	382
受取配当金	11,034	14,144
受取家賃	40,212	49,415
その他	24,369	20,072
営業外収益合計	75,656	84,015
営業外費用		
支払利息	7,601	9,616
減価償却費	1,750	3,938
その他	130	38
営業外費用合計	9,482	13,594
経常利益	358,665	266,491
特別利益		
固定資産売却益	5,644	—
投資有価証券売却益	2,177	1,352
特別利益合計	7,822	1,352
特別損失		
固定資産除却損	1,013	650
課徴金	15,000	—
特別損失合計	16,013	650
税引前四半期純利益	350,474	267,193
法人税等	107,634	83,740
四半期純利益	242,839	183,453

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、ホームクリーニング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
減価償却費	66,317千円	75,298千円
のれんの償却額	9,475千円	10,391千円